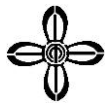


教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子供



干布小学校だより

8月号 H30.8.24

天童市立干布小学校

校長 三好 義宏

前期後半がスタート

校門前に立っていますと、学習用具と宿題の荷物をいっぱい持った子供たちが、明るい笑顔で登校してきました。すでに、うっすら汗をかいている子供もいました。一時、涼しくなりましたが、また暑さが襲ってきているようで、まだまだ子供たちへの暑さ対策に留意していきたいと考えております。

子供たちを家庭にお返しした夏休みが終わり、22日より小学校で子供を預かっております。12月まで力を入れることを先生方と話し合い、朝会で子供向けに話をしました。引用させていただきます。

干布小の合言葉は「つなぐ」「問いかける」ですね。そこで、これからの秋、8月から12月まで、皆さんと先生とで一緒に頑張っていくことをお話します。

「つなぐ」では、友達としっかりつながることです。7月まで、大変残念なことに、友達が「いじめ」だと感じる事が、各学年にありました。友達が嫌だなど思うことをするのは禁止です。干布小学校では認めていません。では、友達とつながるといことは、どのような子供のことなのか、私が発見した干布小の子供を紹介します。

- ◇ 元気な声で友達と先生におはようと言える つながる子供
- ◇ 一人ぼっちでいた友達を誘って遊べる つながる子供
- ◇ 友達の良いところを見つけた時にほめてあげる つながる子供
- ◇ いけない事をしている友達にだめだよと言える つながる子供
- ◇ 自分の思いを自分の言葉で伝えられる つながる子供
- ◇ 意見が違う友達の言いたいことを受け止められる つながる子供



つながるのは、勉強でも、遊びでも、心でも、友達でも、もちろん先生でもいいのですよ。

「問いかける」では、読書に取り組むことをお勧めします。絵本・物語・小説・ノンフィクション・新聞などを読んで、自分を広げてください。いつも教えてくれる人は、先生やお父さんお母さん、友達や先輩などですが、読み物は、自分の好きな時に自分の好きな事を教えてくれます。問いかけたいことに、そっと語りかけてくれるのが読み物なのです。

私も、この休みにたった3冊ですが本を読みました。どんな本を読んだのかというと、今は山形県に関するミステリ作家の本です。柚木裕子さん・深水黎一郎さん・長岡弘樹さんの3人です。皆さんも、好きな作家の本を読んでみるとか、興味のある事（例えば昆虫でも地球温暖化でもいいです）に関する本を読むとか、教科書に関連する本を読んでみるとか、手あたり次第読んでみて好きなジャンルを見つけてみるとか。本を読む時間を、この秋は作ってみてください。

たくさん保護者や地域の方からご協力をいただいて、活気のある干布小になっております。これから引き続き、本校の教育活動にご理解ご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

四谷小交歓会

7月27日～30日の4日間

夏の交歓会がありました。奈良

沢不動尊そばのキャンプ場、6年生の自宅への民泊を宿泊場所とし、20名の6年生同士が交流しました。学校で見ることができない、のびのびと活動する子供たちの姿がありました。すべての活動を支えて下さった、青少年育成会の皆様と保護者の皆様のご苦勞に、感謝申し上げます。

